

# 注目

今月は大本 憲一さんが登場します。  
 大本さんは、自分たちの住みたい、暮らしたいまちの実現にすべきこと、これからの笠岡市のまちづくりについて提言されます。

## 大好きな笠岡のまちをより良くするために！

今年の5月より、協働のまちづくり課が行っている、まちづくり「この指とまれ」塾に参加させて頂いています。これは、

◎「つながり・共生・共創・協働」を基本理念に、地域住民一人ひとりが主役のネットワーク社会をどのように構築するかを学んだり、◎市民活動団体及び個人ボランティアと市民活動団体とのコーディネート育成を図ったり、

◎まちづくりリーダー（まちおこし・まちづくりに熱意

を持ち実践する人）の養成、などを目的としています。参加者は、公民館活動を行っている人など、総勢20名で2ヶ月に一回程度のペースで、様々なまちづくり講習会を行っています。最近では講師による講演を聴いて、それに基づくまちづくりのあり方など色々な情報や知識を得ることが出来ました。

より幅広い知識と見識を得る事となります。そうして、自分も含め参加者がより協働のまちづくりを担う人材へと育っていく事となるのです。

**自分のまちを担って  
いく人材育成を**

まちづくり「この指とまれ」塾は、とても良い試みではないかと思えます。自分のまちを担っていく人材を一人でも多く育成していく試みは、必ずや将来に活かされていくものではないかと思えます。まちの人達が一人でも多く、まちについて考え・学び・知るきっかけを、行政サイドより提供して頂き、一人ずつでもまちに関心を持っていただくようになること、また興味を持つてまちに接するようになる事が、大切なのではないでしょうか。

そういう試みは是非今後も続けて頂き、まちとまちの人達が乖離しないようにすること、またより積極的にまちに関わりを持てるようになる事が協働のまちづくりの第一歩であると思えます。



## 自分達のまちは自分達で

今、笠岡のまちは非常に動いていると思えます。それは行政面に限らず、まちの人達が自分たちのまちを想い、また自分たちの将来も描いて、まちに対して積極的に動きがあるように感じています。

これはとても良い事で、自分たちのまちは自分たちで創り上げる。国や行政に依存することなく、自分たちの住みたい、暮らしたいまちに、自分たちの想いや考えが反映されていき、そして将来の世代

に対して残せていく事が出来るまちづくりとなっていくと思えます。

その様な中で、笠岡の行政は手探りの中でもまちの人達に近くあり、良いバランスで運営されているのではないかと思います。批評や批判をする事は簡単ではありますが、それはある意味マイナスな面が出てしまうのではないのでしょうか。それよりも、頑張っているところや良いところを見て、さらに良くなる方法と一緒に頑張れるところを共に頑張っていく事が大切だと思います。

最後に私は笠岡のまちがとっても大好きです。大好きだからこそ他人事にはしたくありませんし、自分で出来る事やみんなと共に出来る事はこれからも精一杯頑張っていきたいと思えます。そして誰よりも笠岡のまちを愛し続けた

このページのご意見・ご感想をお待ちしています。また、「市政についての質問・提言」などがあれば併せてどうぞ。

お便り…〒七一四一八六〇一 笠岡市中央町一一一

企画政策課モニター係

TEL 21110 FAX 22200